

大館市川口地区ほか公共下水道整備事業

審 査 講 評

平成29年12月

大館市川口地区ほか公共下水道整備事業

プロポーザル審査委員会

大館市川口地区ほか公共下水道整備事業の公募型プロポーザルによる最優秀提案について、
当審査委員会における審査の結果を報告する。

平成29年12月15日

大館市川口地区ほか公共下水道整備事業プロポーザル審査委員会

委員長	森	田	弘	昭
副委員長	小笠原	吉	張	
審査委員	田	口	秀	男
審査委員	飯	泉	信	夫
審査委員	佐	藤	伸	雄

目 次

1. 事業者選定の体制及び開催結果.....	1
1-1. 事業者選定の体制.....	1
1-2. 審査委員会.....	1
1-3. 審査委員会の審査経緯.....	1
1-4. 事業者選定の進め方.....	2
2. 審査結果.....	2
2-1. 応募資格の審査.....	2
2-2. 基礎審査.....	2
2-3. 技術評価審査.....	2
2-4. 技術評価審査（技術評価点）の結果.....	4
2-5. 提案価格の審査.....	4
2-6. 提案価格の審査（価格評価点）の結果.....	4
2-7. 総合評価結果.....	5
3. 審査結果の総評.....	6
添付資料 個別評価.....	7

1. 事業者選定の体制及び開催結果

1-1. 事業者選定の体制

提案内容の審査にあたっては、大館市が提案価格の審査及び基礎審査を行ったうえで、大館市が設置した学識経験者等で構成される大館市川口地区ほか公共下水道整備事業プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）が、応募者から提出された提案書類の提案内容の審査及びプレゼンテーション・ヒアリングに基づいて最優秀提案者を選定し、大館市にその選定結果を報告した。

1-2. 審査委員会

審査委員会の構成は、表 1.1 のとおりである。

表 1.1 審査委員会 委員

	氏名	所属名	備考
委員長	森田 弘昭	日本大学生産工学部土木工学科 教授	
副委員長	小笠原 吉張	東北職業能力開発大学校附属 秋田職業能力開発短期大学校 住居環境科 主幹・教授	
審査委員	田口 秀男	秋田県建設部下水道課 課長	
審査委員	飯泉 信夫	大館市総務部企画調整課 総合戦略推進室 政策監	
審査委員	佐藤 伸雄	大館市産業部農林課 主任	

(敬称略)

1-3. 審査委員会の審査経緯

開催された審査委員会と各回における審査経緯は表 1.2 のとおりである。

表 1.2 審査委員会の開催日と審査内容

回	開催日	内容
第1回	平成29年5月23日	審査委員会のスケジュールの確認 募集要項の審議
第2回	平成29年11月29日	提案内容の審査 プレゼンテーション・ヒアリングの実施
第3回	平成29年12月15日	提案内容の審査、事業者の選定

1-4. 事業者選定の進め方

大館市は、応募者から提出された応募資格審査書類及び応募資格要件の審査を行った。応募資格要件を有している応募者からの提案書について、大館市が提案価格の審査及び基礎審査を行ったうえで、審査委員会において提案内容及び応募者によるプレゼンテーション・ヒアリング内容に基づいて審査し、最優秀提案者を選定した。

2. 審査結果

2-1. 応募資格の審査

応募者は、以下の1グループである。大館市は、代表企業及び構成企業が、募集要項に示す応募参加資格の要件を満たしているかどうかを審査した。この結果、すべての企業が応募参加資格の要件を満たしていることを確認した。

応募者番号1番 【 佐藤・花岡・佐藤吉・笹谷・伊藤羽州・オリジナル設計企業体 】

代表企業（建設企業）	佐藤建設株式会社
構成員（建設企業）	花岡土建株式会社
構成員（建設企業）	佐藤吉株式会社
構成員（建設企業）	株式会社笹谷建設
構成員（建設企業）	株式会社伊藤羽州建設
構成員（設計企業）	オリジナル設計株式会社 秋田事務所

2-2. 基礎審査

大館市は、応募者の提案書に記載されている事項が、要求水準書に定めた要求水準を満たしているかについて審査を行った。この結果、応募者の提案書に記載されている事項が、要求水準書に定めた要求水準を満たしていることを確認した。

2-3. 技術評価審査

提案価格の審査及び基礎審査後、審査委員会は、応募者によるプレゼンテーション・ヒアリングを実施し、応募者が提出した提案内容に対して、次に示す審査項目及び技術評価点の得点化方法により得点化を実施した。

表 2.1 審査項目

大項目	中項目		点数 配分
(1) 会社概要	①	設計企業の実績	5
	②	建設企業の実績	5
(2) 提案概要について	①	工事概要	5
	②	工事の確実性	8
	③	近隣住民への対応	5
(3) 設計・施工計画について	①	設計の考え方	8
	②	施工計画	8
(4) 工期や性能に対する安全性	①	工期の確実性	5
	②	性能保証を行うための方策等	8
(5) 緊急時の対応	①	緊急事態発生時の対応	5
(6) ライフサイクルコスト	①	月間あたりの使用電力量(kwh/月)	8
	②	ライフサイクルコスト	10
合 計			80

表 2.2 技術評価点の得点化方法

評価	判断基準	得点化 方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.60
C	やや優れている	配点×0.30
D	特に優れている 点が認められない	配点×0.00

2-4. 技術評価審査（技術評価点）の結果

審査委員会は、以下に示す内容により技術評価点（80点満点）に対して、技術評価における妥当性の判断基準を、B評価（優れている）の60%以上であることを前提に審査を行った。前項の審査方法に基づく応募者番号1番の技術評価点の合計得点は、55.1点（68.9%）の得点結果となり、妥当であると判断した。

大項目	中項目		点数配分	応募者番号1番の得点
(1) 会社概要	①	設計企業の実績	5	3.5
	②	建設企業の実績	5	4.0
(2) 提案概要について	①	工事概要	5	4.0
	②	工事の確実性	8	8.0
	③	近隣住民への対応	5	4.2
(3) 設計・施工計画について	①	設計の考え方	8	7.2
	②	施工計画	8	8.0
(4) 工期や性能に対する安全性	①	工期の確実性	5	4.6
	②	性能保証を行うための方策等	8	6.6
(5) 緊急時の対応	①	緊急事態発生時の対応	5	5.0
(6) ライフサイクルコスト	①	月間あたりの使用電力量(kwh/月)	8	0.0
	②	ライフサイクルコスト	10	0.0
合 計			80	55.1

※事業者選定基準に基づき、技術評価点の合計点は、小数点第1位とした。

2-5. 提案価格の審査

大館市は、応募者が提出した提案価格が見積上限価格以内であることの審査を行った。

2-6. 提案価格の審査（価格評価点）の結果

大館市は、応募者が提出した提案価格に対して、次式により得点化を行い、提案価格が見積上限価格以内であることから妥当である判断した。

価格評価点の計算にあたっては、小数点以下第3位を四捨五入し小数点第2位とした。

$$\text{価格評価点} = 20 \text{ 点} \times (1 - \text{応募者の提案価格(税抜)} \div \text{見積上限価格(税抜)})$$

項目	応募者番号1番の得点
見積上限価格	1,491,980,000 円
提案価格	1,476,700,000 円
価格評価点	0.20

2-7. 総合評価結果

審査委員会は、技術評価点と価格評価点の合計を次式に基づいて加算した値を総合評価点とした。

本事業は、技術的な提案内容を評価する公募型プロポーザル方式を採用していることから、審査委員会は、提案内容を踏まえた技術評価を重視した。

応募者番号1番の技術評価点の合計得点は、審査委員会での技術評価の判断基準を満たしており、提案価格においても見積上限価格以内であった。

よって、審査委員会は、総合評価点が妥当であると判断し、応募番号1番を最優秀提案者として選定した。

$$\text{総合評価点 (100 点満点)} = \text{技術評価点 (80 点満点)} + \text{価格評価点 (20 点満点)}$$

項目	応募者番号1番の得点
技術評価点	55.1
価格評価点	0.2
総合評価点	55.3

3. 審査結果の総評

本事業のプロポーザルには、1グループの応募があり、応募資格要件を満たしていることが確認された。

提案内容の審査では、提案価格の審査並びに基礎審査が行われた。

提案価格の審査については、応募者が提出した提案価格が見積上限価格以内であることが確認された。

また、基礎審査では、応募者の提案書に記載されている事項が、要求水準書に定めた要求水準を満たしていることが確認された。

提案内容の審査後、プロポーザル審査委員会は、提案内容に対して審査項目及び配点に基づき得点化を行うとともに、応募者番号1番によるプレゼンテーションを実施し、考え方や疑問点等について説明及び回答を求めた。応募者番号1番は、地元企業を中心とした企業で構成され、提出を受けた提案書も様々な視点から大館市の考え方に十分配慮した提案であった。

提案書は、全体的に提案概要、設計・施工計画、工期や性能に対する安全性、緊急時の対応について、具体的な提案があった。現場状況を把握したうえで国道横断区間に関する課題を整理し、それに対する適切なルートの変更並びに施工方法について、具体的な提案とその効果への言及があった。更に、新技術（クイックプロジェクト）の採用の提案に関しても、具体的な路線と経済的効果への言及があった。

また、現場状況を適切に捉え施工に配慮した設計を行うことにより、早期供用開始を目指した工区設定、先行工事の提案、工事期間中の周辺環境への配慮について、近隣住民への対応策として具体的な方策が提案され、地域への配慮がみられた点も評価されるものであった。

本事業を実施するにあたり、大館市と事業者間で十分な協議を行い、本事業が適切且つ効率的に実施されるとともに、下水道未普及地域の早期解消が図られ、地元企業の参画により、地域経済の活性化に資することを期待するものである。

最後に、本事業は、我が国の下水道分野の下水道未普及地域の早期解消における設計・施工一括発注方式としては、先進的な事例で注目度の高い事業である。

今後、下水道未普及地域の早期解消において、本方式を導入する場合の参考事例となることを期待するものである。

<付帯意見>

- ・ 本事業を実施するにあたり、地域住民等と緊密で良好な協力関係を構築し、円滑に事業を進めていただきたい。
- ・ 工事の安全性の確保を図るとともに施工時の品質確保に努めていただきたい。
- ・ ライフサイクルコストについては、詳細設計時に流下方式の変更が可能か検討し、マンホールポンプ場の使用電力量の低減が図られるよう検討していただきたい。
- ・ 新技術（クイックプロジェクト）の採用に関して、詳細設計時に妥当性を確認後、更なるコスト縮減が図られるよう検討していただきたい。

添付資料 個別評価

大項目	応募者番号 1 番
(1) 会社概要	<p>設計企業の実績については、「実施設計業務（分流式汚水）の設計、推進工法、軌道横断、マンホール形式ポンプ場」の設計実績があると判断した。</p> <p>建設企業の実績については、「施工規模、推進工法」の施工実績があると判断した。</p>
(2) 提案概要について	<p>全体の工期について、1ヶ月の工期短縮の提案があり評価した。</p> <p>国道横断箇所を難工区として抽出し、具体的なルートの変更並びに施工方法の変更を提案し、課題である渋滞緩和等への対策が示されていることから特に優れていると判断した。</p> <p>交通安全対策として、現地調査を基に設計段階、工事施工時における具体的な対応策の提案があったことから優れていると判断した。</p>
(3) 設計・施工計画について	<p>設計計画について、設計手順に対する作業期間の明示に加え、全体工程に影響する設計協議も明示されており、工程上の重要となる点を把握していることから特に優れていると判断した。</p> <p>施工計画について、先行工事を行う提案をしたことに加え、その選定理由が妥当であることから特に優れていると判断した。</p> <p>新技術（クイックプロジェクト）の提案があり、具体的な路線と経済的効果が示されていることから特に優れていると判断した。</p>
(4) 工期や性能に対する安全性	<p>全体の工期について、1ヶ月の工期短縮の提案に加え、早期供用開始を想定した工区設定となっていることから特に優れていると判断した。</p> <p>冬期間工事の対策として、施工前除雪、歩行者等への具体的な対応策が示されていることから特に優れていると判断した。</p> <p>設計時の性能保証として、設計審査内容や照査内容の明示、具体的設計協議チェックリスト（案）の提示があったことから特に優れていると判断した。</p> <p>施工時の性能保証について、建設企業のセルフ施工監理と設計企業が行う施工監理との違いが示されていなかったが、具体的な作業内容が示されていたため、やや優れていると判断した。</p>
(5) 緊急時の対応	<p>緊急時の対応として、具体的な緊急連絡体制図の提示、緊急時における通報時間の個別記載、処置体制の記載があることから特に優れていると判断した。</p> <p>現場事務所の設備等に関する工夫で、AED設置の義務化が提案されていることから特に優れていると判断した。</p> <p>大館市消防本部主催の救命講習に参加することが提案されていることから特に優れていると判断した。</p>
(6) ライフサイクルコスト	<p>電力量の低減について、提示された電力量は、基本設計で想定した電力量に比べ、低減効果はあったが、低減率の配点の基準に満たなかった。</p> <p>ライフサイクルコストの低減について、提示されたライフサイクルコストは、基本設計で算定したライフサイクルコストに比べ低減効果はあったが、低減率の配点の基準に満たなかった。</p>